

第2学年 外国語活動学習指導略案

3組 計22人 (男子12人, 女子10人)

指導者 野口 桃子

AEA 内園 葉子

1 題材 英語あそびをしよう (果物)

2 題材の目標

- ・ 「果物」の英語を使ったゲームを通して、友達と関わる活動を楽しもうとする。
- ・ チャンツやゲームを通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。
- ・ 果物を表す英語について、日本語との音声の違いを知り、言葉の面白さに気付く。

3 題材の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
「果物」の英語を使って、友達と関わりながら楽しく活動しようとしている。	チャンツやゲームを通して、英語の音声やリズムに慣れ親しんでいる。	果物について、日本語と英語の音声の違いを知り、言葉の面白さを感じている。

4 題材の設定とねらい

これまでに子供たちは、第1学年で、英語での簡単なあいさつや数字などの言い方を知り、絵本の読み聞かせや歌、ゲームを通して英語の音声に慣れ親しむ経験をしてきている。第2学年の1学期の学習では、「色」の英語を使って、英語の発音には、強く言うところや伸ばすところがあるということに気付くことで、日本語と英語の音声の違いを知り、言葉の面白さを感じることができた。

そこで、本題材の学習では、英語で友達と楽しく活動したり、日本語とは違う英語の音声やリズムに慣れ親しんだりすることができるように、子供たちに身近な「果物」の英語を使って学習を進めていく。スキットやチャンツは、果物の具体物や絵カードを見せながら行うことで、日本語と英語の音声の違いを知り、音と意味をつなぐことができるようにする。そして、本時で扱う単語は、子供が親しみやすい単数形にすることで、リズムよくチャンツを行うことができるようにする。チャンツを通して「言い方が分かった」、「大きな声で言えるようになった」という自信をつけることで、「学び合い」やゲームへの意欲を高め、楽しく活動することができるようにする。

この学習は、第5学年“Hi, friends! 1” Lesson 4「好きなものを伝えよう」と関連のある内容である。本時で学習した内容は、第5学年では、“I like ~.”や“Do you like ~?”という表現を使って、自分の好きな物を伝えたり、友達にインタビューをしたりする活動へと発展していく。

5 指導に当たって

「意欲をもつ」過程では、スキットやチャンツを行うことで、活動への興味・関心を高め、英語の音声に十分に慣れ親しませることができるようにする。次に、「楽しむ」過程では、簡単な英語を使ったゲームや「学び合い」などを通して友達と関わる場を設定することで、「英語は楽しい」、「もっと英語を言えるようになりたい」という思いをもつことができるようにする。そして、「振り返る」過程では、評価の3観点で本時の学習を振り返ることで、自己の学びを自覚することができるようにする。

(1) 課題解決へ向けた「学び合い」【研究内容1】

ア グループでの「学び合い」

「いろいろなくだものをえいごで言えるようになろう」というめあてを達成するために、全員が英語らしい発音で言えるようにアドバイスし合う活動を設定する。その際、HRTとAEAがモデルスキットを行い、「アクセントに気をつけてアドバイスし合う」、「分からない時は、先生に質問したりデジタルコンテンツで発音を確認したりする」、「言えたら称賛し合う」といった姿を示すことで、「学び合い」の仕方を理解し、自主的に進めることができるようにする。

イ 全体での「学び合い」

「どうすれば、強く言うところをしっかりと言えたか」を全体で確認し、手拍子や動きを付けてチャンツを行うことで、楽しみながら英語の音声に慣れ親しむことができるようにする。

(2) 自己の学びを自覚するための評価活動【研究内容2】


「楽しかったこと、分かって嬉しかったことは何か」と問い掛けることで、友達との関わりの中で学んだことや、自分ができるようになったことを振り返ることができるようにする。その際、「友達と楽しく活動できたか」、「英語のリズムに慣れ親しんだか」、「日本語と英語の違いが分かったか」といった、評価の3観点で振り返ることで、本時の学習活動における自己の学びを自覚することができるようにする。また、HRTとAEAが観点に沿って、子供たちのよくできていた姿を称賛することで、次の学びへの意欲をもつことができるようにする。

6 本 時 (1/1)

(1) 目 標

- ・ 「果物」の英語を使ったゲームを通して、友達と関わる活動を楽しもうとする。
- ・ チャンツやゲームを通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。
- ・ 果物を表す英語について、日本語との音声の違いを知り、言葉の面白さに気付く。

(2) 展 開 教師の言葉掛け 子供の反応 重点評価項目 ☆ ICT 活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導
意 欲 を も つ (8)	<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 スキットを視聴する。</p> <p>HRT: How are you? AEA: Oh, I'm great. HRT: What's? AEA: Shopping. I will give you three hints. First, yellow, second long, third monkey. HRT: Unー. バナナ? AEA: No, no, no. Banana. HRT: Oh, banana! ※ watermelon も扱う。</p> 	<p>○ 生活場面のやりとりの中に3ヒントクイズを加えたスキットを行うことで、知っている単語やジェスチャーなどに興味をもって視聴するとともに、果物の単語を使った学習への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○ AEA と、HRT の発音を聞き比べることで、日本語と英語の発音の違いに気付き、「英語らしく言えるようになりたい」という思いをもつことができるようにする。</p> <p>○ 「くだもの言えるかな」、「くだものビンゴをしよう」という学習計画を提示することで、本時の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○ 絵カードを見て、AEA の発音を聞くことで、日本語と英語の音声の違いに気付くことができるようにする。</p> <p>◆ 日本語と英語の音声の違いに気付いている。【言語や文化に関する気付き】</p>
	<p>今日はどんな英語が出てきたかな。</p> <p>果物が出てきたよ。スイカは何て言ったのかな。</p> <p>3 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>いろいろなくだものをえいごで言えるようになろう。</p>	
楽 し む (32)	<p>4 本時で学習する単語を知る。 ◎ AEA 発音 melon / lemon / apple / orange / pineapple / peach / banana / strawberry / pear / watermelon</p> <p>スイカやナシの言い方は日本語の言い方と全然違うね。バナナの言い方もちょっと違うと思うよ。</p> <p>5 チャンツをする。 ◎ AEA 発音 強く言うところや伸ばすところが分かるかな。</p> <p>チャンツで上手く言えるようになったね。 orange/banana/apple/strawberry をグループで練習してみよう。</p>	<p>○ タンブリンでリズムを取りながらチャンツを行うことで、英語のアクセントやイントネーションに慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>○ 上手く言えた単語を称賛することで、「学び合い」への意欲を高めることができるようにする。</p>
	<p>6 グループでの「学び合い」を行う。</p> <p>orange/banana/apple/strawberry を強く言うところに気をつけて発音できるようになろう。</p> <p>① 輪になり、一人が絵カードを引く。 ② デジタルコンテンツで言い方を確認する。 ③ 果物の名前を順番に繰り返して言う。 ④ 2周したら、ハイタッチする。</p> <p>7 全体での「学び合い」を行う。 ◎ AEA 発音 どうすれば、強く言うところをしっかりと言えたかな。 強く言うところで手を叩いてみると上手くできたよ。 リズムにのって、チャンツをしてみよう。</p>	<p>○ グループの全員が言えたらホワイトボードに印を付けていくようにすることで、視覚的にも達成感を味わうことができるようにする。</p> <p>☆ デジタルコンテンツで発音を聞くことで、言い方を確認したり練習したりできるようにする。</p> <p>○ 手拍子を加えたり、全体やグループなどでチャンツを行ったりすることで、楽しみながら英語に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>◆ 英語の音声やリズムに慣れ親しんでいる。【外国語への慣れ親しみ】</p>
振 り 返 る (5)	<p>8 「くだものビンゴ」をする。</p> <p>① 9つのマスに果物を当てはめ、ビンゴカードを作る。 ② 言われた果物カードを裏返す。 ③ 2ビンゴできたら、「Two bingol!」と言って手を挙げる。</p> <p>9 本時の学習について振り返る。</p> <p>楽しかったこと、分かって嬉しかったことは何かな。</p> <p>・ 友達と一緒に言うのが楽しかったです。 ・ リズムに合わせて言うと上手く言えました。 ・ スイカの言い方を知ったのでつかってみたいです。</p>	<p>○ グループごとに欲しい果物を言うなどビンゴのルールを工夫することで、意欲的に取り組むことができるようにする。</p> <p>◆ 果物の英語を使って、友達と関わりながら、楽しく活動している。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p>○ 「友達と楽しく活動できた」「英語のリズムに慣れ親しんだ」「日本語との違いが分かった」という、評価の3観点に関わる内容は、全体に問い掛け、称賛することで、自己の学びを自覚することができるようにする。</p>

外国語活動「学び合い」想定シート

学習のめあて いろいろなくだものをえいごで言えるようになろう。

グループでの「学び合い」



orange/banana/apple/strawberry を強く言うところに気をつけて発音できるようにしよう。言えたら、みんなで褒め合おう。

① orange は、強く言うところがあったよね。



orange

orange



④ じゃあ、順番に言ってみよう。

Good job!!

② 「オ」のところを強く言うんじゃないかな。



orange

orange



③ 「オ」のところを手を叩いて言ってみてもいいね。



strawberry が上手く言えないなあ。

パソコンで、言い方を確認してみよう。



何回も聞いたら、言えるようになってきたぞ。今度はみんなで言ってみよう。

やったね。4つとも上手く言えるようになったよ。みんな、すごい。



強く言うところをしっかりとるための工夫について、全体の「学び合い」を行う。

全体での「学び合い」



orange は「色」でも出てきましたね。どうすれば、強く言うところをしっかりとる言えましたか。

手拍子を付けて、強く言うところに気をつけたら、上手く言えました。

apple や banana も強く言うところがあるから手拍子が合うよ。



チャンツでは、リズムに合わせる場所が大切ですね。

Orange, apple, banana!



Let's chant! Orange, apple, banana!



Very good! Excellent!



とっても上手に言えましたね。strawberry は難しかったみたいだけど、他と同じように強く言うところがあります。チャンツで確認してみましよう。



Strawberry! Lemon, melon, watermelon! Peach, pear, pineapple!

よし、自信をもって言えるようになってきたぞ。



Strawberry!

全体での「学び合い」の後に、「くだものビンゴ」をする。